

---

# 運命を見る卵

天海雨月

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

運命を見る卵

### 【Nコード】

N8195M

### 【作者名】

天海雨月

### 【あらすじ】

夢ですね。主人公は結婚していて普通の生活をしていました。ところが運命を見る卵を見つけてから、次第に彼の人生が狂い始めるつといった話です。元々は自分がみた奇妙な夢をそのままの形で小説に書いたものです。

(前書き)

夢ですね。

私は昨日奇妙な夢を見た。現実ではないことであるが、妙に現実感がしたのだ。その夢とは、私ではない人々の運命を知る夢である。この話の前に一つこの夢の中で重要なものを紹介しよう。それは自分の運命を見る卵である。

その卵は帰宅した私の家のテーブルになぜかあった。しかも説明書付きである。卵に説明書というのは奇妙なことだが、その奇妙な説明書はこう書いてあった。

その前に卵について書こう。

?この卵は小さな卵で一口サイズである。

?三つの卵は何故かテーブルの上に置いてあり、説明書がある。

## 説明書

- 1・口の中に入れると溶けてなくなる。
- 2・ちぎって食べてはいけない。運命が見えなくなってしまう。
- 3・一晩で今後の運命を見ることが出来る。
- 4・運命と違う行動を起こすと運命は変わる。
- 5・それを知るにはもう一つ食べなければならない。
- 6・三つの卵はそれぞれ赤と黒の縞模様、黄色と紫の混ざった模様、白色の卵である。赤 黄 白の順に食べなければならない。

## 注意事項

運命は交差する。他人が違う行動を起こすと、自分の運命も少なからず変わる。必ずしもその運命にはならないが、99%の確率で当たる。

私は夢の中で結婚していて、妻がいた。

## 私の妻の夢

妻はごく普通の主婦である。特別なものはなく、只毎日を普通に

過ごしている。妻は卵を発見し、その通りに面白半分に食べてしまった。

#### 一個目の卵の運命

普通に生活し、普通に死ぬというものであった。

妻はそのありきたりな運命が嫌で、（スリルや何も特別なことがないこと）普段とは違う行動をするようになった。厚化粧やきれいな格好、普段は行かない場所に行ったり、新しい友達を作ったりしていた。

#### 二個目の卵の運命

私と違った男の人と大恋愛の末に結婚する夢であった。

彼女は満足と同時に私に対して冷たくなっていった。

#### 三個目の卵の運命

前と違い、こんどは車に轢かれて死ぬものだった。

そして当日、どこかの歩道で夢の中で結婚した男と目が合い、立ち止まったら車に轢かれて死んでしまった。

すると、今度はまったく違う男の夢を見た。

男は国会議員である。彼もまた妻とどうように好奇心でその卵を食べてみた。

#### 一個目の卵の運命

優秀で評価され、なぜか総理大臣となり、歴代最高の人と皆に慕われる夢だった。

しかし、私の妻が行動を起こした原因で日常の中で何かが変わっていく。心配した男はもう二個目の卵を食べた。

#### 二個目の卵の運命

知らない女の人と喧嘩したり、仲直りしたりして、結婚するが、自分の元妻が自殺騒動を起こして、スキャンダルになり、失脚するものだった。

彼は焦り始め、その女性が時々道ですれ違う女性だと気づく。

#### 三個目の卵の運命

その女性を見つめ、その女性がそのせいで死んでしまうというものである。

そして当日、夢の中で会った女の人と目が合い、立ち止まった女の人が車に控えて死んでしまう。その後わからない罪悪と同時に、何かが割れると音がして失望の中死んでしまうのであった。

その後また、違う男の夢を見てしまう。

男は野球選手である。やはり、何気なく卵を食べてしまう。

#### 一個目の卵の運命

野球の球がどういう風に投げてくるのかが分かり、新人王に輝き、メジャーに挑戦できるようになる。一生を終えるまで全てMVPを取る。最後は最高の野球選手と皆に認められるものだった。

しかし、妻の行動や国会議員の行動によって、投げられてくるはずのボールが来なかったり、メジャー行きもなくなってしまう。不安になり、二個目の卵を食べてしまう。

#### 二個目の卵の運命

妻が野球連盟の人と不倫をし、スキャンダルにされ、野球連盟の人に解雇されるものだった。

そのため、妻が不倫している見なし、離婚する。

#### 三個目の卵の運命

死球を後頭部に食らい、運悪く死ぬものだった。

それが怖くてその日の試合は風邪をこじらせたと嘘をいい、自宅で寝ていた。しかし、何かが割れる音と共に自分の頭から血が流れて死んでしまう。

うんざりしたが、全然違う人の夢を見た。

男はサラリーマンである。気の弱い人で卵を見つけると運命を知りたいと真剣に思い、一個目の卵を食べた。

#### 一個目の卵の運命

平凡に生き、家族には馬鹿にされ、尊敬もされないまま死ぬという

ものだった。

しかし、なぜか家族には親切にされるようになり、自分が見た運命と変わっていく。

## 二個目の卵の運命

部長に出世し、家族に大切にされるものだった。

しかし、今度はリストラのリストに入れられたと言われるようになる。焦った彼は最後の卵を食べた。

## 三個目の卵の運命

過労死するというものだった。

それが嫌で有給休暇をとり、公園に散歩した。すると目の前に一人の老婆が現れ、私の住所を渡したのである。私はそのとき奇妙な気分だった。私が彼を見つめていたのである。そして、その手紙に私と会えば運命は変わると書いてあったのだ。

私に会いに来た男は全ての原因が私にあると思い、問いつめてくる。もみ合いになり、ちょうど私の近所の人が会いに来て、その男が不審者と思い、警察に通報した。その男は精神が不安定と思われ、精神病院に入れられてしまう。そして、また何かが割れる音と共に、狂い死んでしまう。

私はこれ以上他人の夢を見るのが嫌になって起きようとするが、起きれない。そして、私はまた違う男の夢を見てしまう。

男はトラックの運転手である。トラックで物を運ぶことに生き甲斐を持つ。自分の運命を見ることは躊躇したが、結局食べてしまう。

## 一個目の卵の運命

自分がもっている生き甲斐のせいで誰からも理解されず死ぬというものであった。

男は新しいことに挑戦しようと思い、絵を描き始める。すると、だんだん交流も増えて、日常が楽しいと思うようになる。

## 二個目の卵の運命

結婚していて、子供ができて最高の人生を得ている夢だった。

満足した彼は、絵のほかにもゴルフや新しい仕事などし始める。

しかし、何を思ったか三箇目の卵を食べてしまう。

### 三箇目の卵の運命

男は久しぶりに運転するとブレーキが効かなくなり、人を轢いてしまったのである。

それが怖くて、その日はトラックには乗らずに車でドライブする。しかし、夢と同じでブレーキが効かず、サイレンも鳴らせず、歩道で立ち止まっていた女性を轢いてしまう。逮捕されるのが怖くなり、ひき逃げをしてしまう。すると、何かがまた割れる音と共に、車が炎上して焼け死んでしまう。

そして、私は夢から覚めた。奇妙な夢と同時にどうしても悩んだことがある。

私は何故他人の夢を見ていたのか？割れる音とは何か？老婆と卵の関係は何か？何故自分が食べていないのか？私の運命は何であったのか？卵はどこからきて、何故私と関係しているのかというものである。

不思議な夢である。

（後書き）

本当にくだらな夢です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8195m/>

---

運命を見る卵

2010年10月12日06時46分発行